

2010年度 日本文化人類学会

第5回理事会 議事録(案)

日時：2010年12月18日(土) 14:00～

会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館) 7階会議室 雲取(くもとり)

出席者：渡邊(欣) 綾部、太田、岡田、鏡味、栗田、桑山、関根、高倉、玉置、中川、名和、三尾、森山、
渡辺(公)

委任状提出：小田、栗本、清水、棚橋、中谷

〔承認事項〕

1. 前回(2010年度第4回)理事会議事録を承認。
2. 新・再入会員(11名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. 台湾中央研究院民族学研究所による『民族学研究』掲載論文転載の許諾依頼について、著者が故人となっている場合には、ご遺族から転載許可をとる努力をしてほしい旨先方に伝えたくて、本学会の転載許諾基準に則って転載許諾を行う措置を取ることを承認。

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・日本学術会議学会誌問題検討分科会が主催する11月26日の会議への出席依頼があったが、出席できなかったことを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・評議員による第6回学会賞授賞候補者の投票結果に基づき、上位4名を選考委員会に推薦したことを報告。
 - ・独立行政法人大学評価・学位授与機構より機関別認証評価委員会専門委員候補者の推薦依頼があり、10名を推薦したことを報告。
 - ・政府観光局・国際会議キーパーソンの招聘事業について照会があったことを報告。
 - ・国際社会科学評議会(ISSC)主催のシンポジウム開催についての連絡があったことを報告。
3. 会計理事報告
 - ・平成23年度科研費(学術刊行費)を申請したことを報告。
 - ・平成23年度科研費(研究成果公開促進費)を申請したことを報告。
 - ・11月13日に開催された公開シンポジウムの実績報告書を文部科学省に提出したことを報告。また、科研費(研究成果公開促進費)の使用に関しては、パネリストに対する謝金の支出は非会員に対してのみとすることを確認した。
4. 広報理事報告
 - ・学会HP上の「学会通信」に前期会長名で出されたアイヌ関連及び事業仕分け関連の声明文を掲載したことを報告。
 - ・11月25日に行なわれた日本学術会議シンポジウム「公益法人申請のための最新情報説明会」に出席したこと、法人化については、今後も引き続き総務会にて検討していくことを報告。
 - ・学会HPの「JASCA-NETの利用について」にチェーンメール誘発の可能性のある不適切な表現の使用に関して注意を促す文言を追加したこと、JASCA-NET上でも注意喚起を行う予定であることを報告。
 - ・IUAES中間会議に関して、10月12日にパネル募集について、12月10日に個別発表申込について、JASCA-INFOによる配信を行ったことを報告。また、国際連携委員会より、2013年にマンチェスターで開催されるIUAES本会議のパネル募集について、JASCA-INFO配信の依頼があり、総務会で承認の上、配信したことを事後報告。
 - ・11月13日に開催された公開シンポジウムの案内を、総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。これに関連して、学会HPに掲載されていた案内の開始時間に誤記があったことが判明したため、今後正確を期すために掲載内容のチェックをより慎重に行うこととした。
 - ・AJJ2010年度年次大会の案内を、総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。
 - ・科学技術振興機構より、J-STAGEによる研究大会の演題登録システム事業を廃止するが、同事業はJ

STAGE3のジャーナル公開システムに統合される予定であるとの連絡があったことを報告。

5. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：進捗状況を報告。書評の対象とする図書の選定方法及び現在の査読体制に関する問題点を報告。
- ・JRCA編集委員会：理事会前に編集委員会を開催したこと及び進捗状況を報告。
- ・民博連携委員会：新規協定書締結プロセスの日程について報告。
- ・研究グループ制導入委員会：メールによる第3回委員会の内容を取りまとめ中であること、地区別の研究懇談会とは別に、課題別の研究グループを組織する方向で検討中であることを報告。
- ・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。
- ・倫理規定検討委員会：進捗状況について報告。
- ・学会賞選考委員会：選考日程について再度確認を行ったうえで、進捗状況を報告。
- ・文化人類学教育特別委員会：公募により、若手支援実施検討ワーキンググループの若手委員として、松村圭一郎会員、木村周平会員、浜田明範会員の3名が選出されたこと、本日中に第1回ワーキンググループの会合を開催することを報告。
- ・研究発表査読委員会：第45回研究大会の開催準備に関連して、12月9日に演題登録が締め切れ、現在査読作業が進行中であることを報告。

〔審議事項〕

1. 学会賞候補者選考における評議員会承認について
 - ・綾部理事より、今年度までは従来通り投票結果に基づき選出された学会賞候補者のリストを評議員会の承認を得た上で選考委員会に送付してきたが、来年度からは、評議員会の承認を得るという手続きを廃止したい旨の提案があり、承認された。
2. 学会賞選考規則の改正（案）について
 - ・渡邊会長より、現行の学会賞選考規則の問題点について説明があり、改正に向けて検討を行った結果、今年度については現行の規則を変更しないこと、今年度の選考委員については再委嘱・補充を行わないこととし、来年度以降学会賞と奨励賞の選考委員会を別個に設けるかどうかについては、総務会で検討したうえで、再度審議することとした。
3. 各地区研究懇談会と地区固有研究会との研究会共催に際しての表記について
 - ・渡邊会長より、各地区研究懇談会の開催形態の問題点について説明があり、共催の場合の表記法について検討を行った結果、今後、広報における表記法については、あらかじめ当事者間で合意を形成しておくことが必要であることを確認した。
4. 学術会議会員候補者に関する情報提供について
 - ・渡邊会長より、学術会議会員候補者に関する情報提供（6名）について、会長及び総務会に人選を一任してほしい旨の提案があり、承認された。
5. 澁沢賞選考委員の推薦について
 - ・渡邊会長より、澁沢賞選考委員会の新規委員2名及び委員長の推薦について提案があり、承認された。
6. 国立民族学博物館との連携事業の追加について
 - ・岡田理事より、国立民族学博物館「包摂と自律の人間学」プロジェクト「支援の人類学」国際シンポジウムに関する後援依頼について説明があり、後援することが承認された。また、同シンポジウムの案内をJASCA-INFOで配信することとした。
7. 日本学術会議自然人類学分科会主催公開シンポジウム共催依頼について
 - ・綾部理事より、日本学術会議・自然人類学分科会主催公開シンポジウム「ヒトの社会と愛 ラミダス猿人化石からわかること」に関する共催依頼について説明があり、共催することが承認された。また、要請があった場合には、同シンポジウムの案内をJASCA-INFOで配信することとした。
8. その他
 - ・鏡味理事より、若手支援実施検討ワーキンググループの若手委員として4名を予定していたが、公募による選出が3名であったため、もう1名追加したい旨提案があり、審議の結果、村松彰子会員を若手委員に追加することとした。

以上